

# St. Luke's International University Repository

## 2007年度聖路加看護学会理事会報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10285/2700">http://hdl.handle.net/10285/2700</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# 学会記事

## 2007年度 聖路加看護学会 理事会報告

### 第1回

- 日 時：平成18年11月24日〔金〕 18:00～19:30
- 場 所：聖路加看護大学2号館7F演習室1
- 出席者：理事10名

#### <審議事項>

1. 理事長の挨拶があった。
2. 2006年度第9回書面理事会議事録は承認された。
3. 2006年度第1回評議員会議・第11回聖路加看護学会総会議事録は承認された。
4. 聖路加看護学会第11回学術大会について  
当日参加者数167人、当日欠席者数18人、一般演題23演題は前年度に比べて若干少なかったが例年通りであったこと、シンポジウムが雑誌に掲載されたこと、会計は黒字の見込みであり、次学術大会へ寄付予定であることなどが報告された。
5. ニュースレター委員会の追加委員1名が承認された。
6. 新入会員の承認：5名が承認された。
7. 学術交流会の開催時期やテーマおよび講師等について検討した。
8. 2007年度事業計画について  
今年度の事業計画が確認された。特に、将来構想検討委員会の立ち上げに際して、メンバー構成の検討以外に学会としてのアウトカム、学会の組織作りに取り組む必要性が挙げられた。
9. ホームページについて  
ホームページの充実に関して、理事会としてのホームページの方向性を、本年度の検討事項とした。
10. 2007年度理事会スケジュール案  
理事会開催の日時変更以外は承認された。
11. 機関別認証評価に係る専門委員候補者の推薦について  
本学会からは専門委員候補者を選出しないことに決定した。

#### <報告事項>

1. ニュースレター委員会より、委員紹介とニュースレター20号の発送完了の旨が報告された。
2. 庶務より、2007年度10月現在の会員数、2007年度の学術大会に関するアンケートへの回答、日本学術会議による「科学者の行動規範」に関する資料の紹介、故羽山由美子氏のご遺族からのお手紙について報告があった。
3. 会計より、ニュースレターに2007年度年会費の用紙を同封したこと、3年以上会費未納者23名および2年会費未納者46名の合計69名の方に通知したことが報告された。
4. 看護系学会等社会保険連合より、診療報酬および介護報酬のあり方に関する検討委員会の報告があった。
5. 第12回聖路加看護学会学術大会企画委員について  
開催日程およびテーマと企画について報告があった。

### 第2回

- 日 時：平成19年1月12日〔金〕 18:00～19:30
- 場 所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム
- 出席者：理事10名、監事1名

#### <審議事項>

1. 聖路加看護学会第11回学術大会の会計報告があった。  
参加費納入者185名、当日参加者167名、当日欠席者18名であった。収入は合計1,158,905円、支出は合計984,228円で、174,677円の黒字となり第12回学術大会に寄付することとなった。
2. 2007年度聖路加看護学会第1回理事会議事録は承認された。
3. 新入会員の承認：1名が承認された。

4. 新理事の承認：鈴木久美氏が異動に伴い庶務を辞退するため、大久保暢子氏(本学助教)が指名理事として承認された。
5. 将来構想検討委員会委員の4名が承認され、さらに1名が追加委員として推薦された。
6. 学術交流企画について  
来年度の学術交流会企画案についての説明と検討がなされた。
7. ホームページに学会投稿規定の掲載が承認された。
8. 印刷物郵送先不明者の取り扱いについて  
庶務より、年会費未納3年以内の者で連絡先不明者が12名おり、対応困難な旨が説明された。検討の結果、本人の問い合わせがあるまでニュースレターや学会誌の送付はしないこととなった。また、連絡先不明者を少なくする対策として、勤務先・自宅住所変更連絡用紙を作成し、3月のニュースレターに同封することが承認された。ホームページからもこの用紙をダウンロードできるようにした。
9. 庶務より、稟議書に基づきパソコンとプリンター購入願いについて説明がなされ、承認された。

#### <報告事項>

1. 学会誌編集委員会より、6月の学会誌発行のための準備状況と投稿原稿の締切日の報告がなされた。
2. ニュースレター委員会より、ニュースレター21号の発行準備状況の報告がなされた。
3. 庶務より、日本学術振興会より平成18年度の日本学術振興会賞受賞者の決定について知らせが届いた旨が報告された。
4. 会計より、年会費未納者約70名に個別に手紙を出したことが報告された。
5. 看護系学会等社会保険連合より、看護系学会等社会保険連合で納めている会費値上げ(本学会の納入金額3万円)について、三保連(外保連、内保連、看保連)でシンポジウムを企画していること、1月13日に後期高齢者医療のあり方に関する意見交換会が聖路加看護大学で開催されることが報告された。
6. 第12回聖路加看護学会学術大会について  
学術大会のテーマおよびシンポジスト等の決定事項が報告された。

### 第3回

- 日 時：平成19年3月16日〔金〕 18:00～19:30
- 場 所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム
- 出席者：理事8名、監事1名

#### <審議事項>

1. 2007年度聖路加看護学会第2回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：7名が承認された。
3. 将来構想検討委員会委員の1名が承認された。
4. 学術交流委員会より2007年度本学会学術交流会の企画案についての報告がなされた。さらに外国シンポジストや通訳への謝礼についての案が出され、承認がなされた。
5. 将来構想検討委員会からの報告を受けて、以下のような意見が出された。
  - ・学会誌が出版社と連携し、研究論文を本として販売し利益を上げている学会もある。現象学の研究は本にするのもよい。将来構想検討委員会でこのような考えも含めて検討したらどうか。
  - ・本学会として特徴、ミッションがないのは寂しい。私大としての教育も特徴づけることが要求されているので、是非、聖路加を特徴づけている研究を大事にしてほしい。

い。聖路加を特徴づけている論文には懸賞をつけてもよい。聖路加だから出せる研究、出したいと思う研究があり、そのような学会になればよいのでは。

- ・スピリチュアルな部分の特徴をしていけないか。自然科学としては通らないけれど、聖路加だからできる研究もあるはず。事例研究を大切にしていきたい。

<報告事項>

1. 学会誌編集委員会より、6月発行の学会誌(第11巻1号)は、計19編の論文が掲載予定であり、費用を確認中であるとの報告がなされた。また庶務および会計担当に学会記事の依頼がなされた。学術大会での専門看護師による発表内容を学会誌に掲載していく旨が総会で承認されているため、現在準備中の学会誌から掲載していくことが確認された。
2. 庶務より、学会員数、本学卒業式・修了式での学会入会の案内、ホームページの更新、パソコンおよびプリンター購入と大学寄付願い申請書の提出、学会宛の郵便物について報告がなされた。
3. 看護系学会等社会保険連合より、看保連の下部組織として「看護技術検討委員会」と「診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会」をもち、本学会は後者に属し、さらにその委員会がもつワーキンググループの「7対1看護の適切性」に属していること、「後期高齢者の医療のあり方に関する意見書」を厚生労働省医療課長に提出したこと、第2期委員会メンバーの入れ替えはないこと、三保連企画のシンポジウムを開催し、報告書を作成予定であること、拠出金の規約の改正(各学会一律3万円の追加徴収)について次回の看保連総会で承認を得る予定であることが報告された。
4. 第12回聖路加看護学会学術大会について  
CNSフォーラムのシンポジストを選定中であること、フォーラムと一般演題のプログラムを重ねて進行させる可能性があること、抄録原稿はWeb登録も行うとの報告がなされた。また、ニュースレターへの案内掲載、演題申込書・会費振込用紙の同封を行ったことが報告された。
5. 将来構想検討委員会より、将来構想検討委員会の趣旨、第1回委員会での議論内容が報告された。将来構想検討委員会の趣旨は、日本学術会議・学協会のあり方が変化してきていること、本学会が看護学にどのように貢献していくのか不明確であること、創設時は院生の発表の場であったが専門学会が増加したこと、その目的を果たせなくなってきていることから本学会のあり方が問われてきていることである。第1回委員会での議論は、本学会の特徴を踏まえて学会名に副題をつけること、日本学術会議の意向に沿わなくとも上級看護実践の活動を学会で発表し学会誌に残していくこと、聖路加国際病院主催の聖路加アカデミアとの連携の検討等であった。

**第4回(書面理事会)**

●日時：平成19年5月11日〔金〕付

●回答者：理事10名、監事2名

<審議事項>

1. 2007年度聖路加看護学会第3回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：15名の入会が承認された。
3. 日本学術振興会賞受賞候補者として、当学会員から片岡弥恵子氏(本学助教)、江藤宏美氏(本学看護実践開発研究センター准教授)の2名の推薦が承認された。
4. 日本看護系学会協議会総会の出席者として、理事2名の選出が承認された。

**第5回**

●日時：平成19年6月15日〔金〕18:00~19:30

●場所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム

●出席者：理事11名、監事1名、第12回学術大会長1名

<審議事項>

1. 2007年度聖路加看護学会第4回書面理事会議事録は承認された。

2. 新入会員の承認：6名の入会が承認された。
3. ニュースレター委員会より、内容を理解しやすくするために写真掲載の可能性について審議提案がなされ、本人承諾があれば問題ないことで承認された。
4. 看護系学会等社会保険連合より、看保連委員に山田雅子氏(本学看護実践開発研究センター)を推薦するとの提案がなされ承認された。
5. 学会誌の年2回発行について

学会誌編集委員会より、以下の説明がなされ協議を行った。本年度学会誌は、22論文の掲載により学会誌予算を超えるとの説明がなされ、本年度の会計上、問題がないことから承認された。次年度においても、投稿論文数は本年度と同様に多くなるとの予測から、年2回の発行が望ましく、その予算案が提示された。会計より、会員数に変動がないことから収入を多くすることは困難である。よって、提示された予算案を施行するには、繰越金を費やすことになるとの説明がなされた。理事長より、発行数の増加は、学会の評価に値することであることから、尊重していきたい意向が出された。収入を増やす方法として、学術交流セミナー有料化の案、会員数増加のために同窓会との連携をより密にすること等の案が出た。また年2回発行に際して編集作業量も増えることから、作業委託等の対策も考慮する必要があるとの意見が出された。本検討事項は、次年度事業案にも関係することから、次回理事会の検討事項として更に審議を重ねることとなった。

6. 第12回聖路加看護学会学術大会 理事会企画「学術交流ひろば」案について

庶務より、学術大会プログラムに掲載する文章が報告され、さらに昨年の「学術交流ひろば」開催の内容をもとに本年度の開催内容について協議を行った。

7. 平成20年度文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞候補者の推薦について

庶務より、候補者の条件が説明され、本学会員から3名(科学技術賞：本学教授 堀内成子氏、亀井智子氏、若手科学者賞：本学助教 大久保暢子氏)を推薦することで同意がなされた。

<報告事項>

1. ニュースレター委員会より、印刷部数約900部で3月16日に会員に発送済みであること、ニュースレターと共に、第12回学術大会の案内、参加申込用紙、住所変更届け等を同封したこと、ホームページ更新済の件が報告された。
2. 会計より、年会費および会費未納者に対する催促状の発送、看保連年会費納入の完了が報告された。
3. 看護系学会等社会保険連合より、役員任期、役員選出の加盟学会・団体からの委員数、拠出金に関する規約、細則の改正の件が報告された。
4. 学術交流委員会より、学術交流セミナーの準備状況として、広報用ポスターが作成済みである旨が報告された。
5. 将来構想委員会より、独立法人化における本学会のあり方として、社会状況および母体である本学の動きを見ながら、学会の方向性を急がず検討していくことが報告された。
6. 第12回聖路加看護学会学術大会について  
プログラムについて、参加申込者数、学会誌にプログラムを同封し発送予定であること、抄録は査読段階であること、理事会企画は依頼済みである旨が報告された。

**第6回(書面理事会)**

●日時：平成19年6月26日〔火〕付

●回答者：理事10名、監事2名

<審議事項>

1. 2007年度聖路加看護学会第5回理事会議事録は承認された。
2. 自動退会(会員資格喪失)予定者について  
会費滞納が2年以上の会員計41名(2007年6月19日現在)を報告し、該当者全員に資格喪失の予告を行うことが承認された。

3. 第12回聖路加看護学会学術大会 理事会企画「学術交流ひろば」抄録案は承認された。
4. 2007年度聖路加看護学会総会プログラムの承認。

#### 第7回

●日 時：平成19年9月7日〔金〕 18:00～19:30

●場 所：聖路加看護大学本館5階506教室

●出席者：理事8名，第12回学術大会長1名

##### <審議事項>

1. 新入会員と退会者の承認：新入会員9名，退会者17名，自動退会者36名が承認された。
2. 2008年度学術交流会のあり方について  
学術交流委員会より，次年度の学術交流会のあり方について案が出され，テーマと開催時期について検討がなされた。学術大会に懇親会がないことから，学術大会同日終了後に交流会を開催し，有料で軽食込みにする意見が出された。
3. 2008年度予算案について  
次年度予算案について説明がなされ，承認された。また学会誌年2回の発行に伴い，会員確保による収入の充実が意見として出された。
4. 学会誌販売価格について  
学会誌年2回発行に伴い，学会誌計3巻の販売価格を郵送料・手数料込みの7,500円に値上げする案が出され，承認された。
5. 2008年度事業計画案について  
会員の拡充，同窓会との連携を新たに加えた事業計画案が報告され，承認された。
6. 総会の進行について  
総会の進行内容および担当が説明され，承認された。
7. 総会資料について  
誤字の修正，追加事項の補足を確認し，次回理事会・評議員会までに仕上げることとなった。
8. 第14回学術大会大会長の推薦について  
大会長として，聖路加看護大学 堀内成子氏が推薦され，同意がなされた。

##### <報告事項>

1. 学会誌編集委員会より，第11巻1号の発行を行ったこと，次年度より年2回発行を予定し，予算案を検討した旨が報告された。
2. ニュースレター委員会より，ニュースレター20,21号の発行，次年度計画，写真付のホームページ作成の意向が報告された。
3. 学術交流委員会より，学術交流会開催に際して，参加者数43名，アンケート結果は概ね良好であった旨が報告された。
4. 看護系学会等社会保険連合委員会より，本年度の活動報告，加えて平成20年診療報酬改定に向けた「看保連からの要望書」を提出した旨が報告された。

5. 将来構想検討委員会より，本年度の活動報告とともに，前期将来構想委員会から出された4提案を次年度も継続審議していくこと，学会活動の活発化と会員確保を進めていくことが報告された。
6. 会計より，本年度の予算執行の途中経過が報告された。
7. 庶務より，書面理事会での承認内容，国立大学教育研究評価委員候補者の推薦，総会案内の送付，学会誌購読機関への送付，学術大会講演集の買取の件が報告された。
8. 第12回学術大会について  
太田大会長より，プログラム内容，事前申込者数，演題数，実行委員および当日ボランティアについて報告された。

#### 第8回

●日 時：平成19年9月21日〔金〕 16:30～17:25

●場 所：聖路加看護大学本館5階505・506共同研究室

●出席者：理事9名，監事1名

##### <審議事項>

1. 2007年度決算について  
会計より，総会資料に基づき決算報告の説明がなされ，承認された。
2. 2008年度予算案について  
会計より，総会資料に基づき予算案の説明がなされ，承認された。
3. 退会希望者の承認について  
退会者1名が承認された。  
退会者の審議に際して，名誉会員の必要性の意見が出された。
4. 新国際学術会議「世界看護科学学会(仮称)」設立時の発起団体としての参加について  
資料に基づき説明がなされた。500名規模の学会が発起団体として活動できるか，拠出金の支出や学会役員としての活動ができるかなど検討を行った。さらに，日本看護系学会協議会の組織立てが重要であり，まずはそれが可能でないと世界規模の学会への参加は難しいとの意見も出された。今回は，発起団体としての参加は辞退する意向で同意がなされた。
5. 総会プログラムの確認  
資料に基づき総会プログラムの進行について説明と確認がなされた。

##### <報告事項>

1. 2007年度第7回理事会議事録は承認された。
2. 会計より，収支の経過報告および会計監査を受けたとの報告がなされた。
3. 監事より，監査の経過報告がなされた。
4. 第12回学術大会企画委員会より，大会の準備状況について説明があった。